

3 子育ての意識等

(1) 子どもがいてよかったと思うこと

平成13年出生児に比べて、割合が最も上昇したのは「子どもの将来が楽しみ」の12.2ポイント、次いで「子どもの成長によるこびを感じる」の9.9ポイント

平成22年出生児について、子どもがいてよかったと思うことの有無をみると、「よかったと思うことがある」が99.4%となっている（図5-1）。

また、子どもがいてよかったと思うことの内容（複数回答）をみると、「子どもの成長によるこびを感じる」が89.0%と最も高く、次いで「子どもとのふれあいが楽しい」78.7%、「子どものおかげで家庭が明るい」77.8%の順となっている。

平成13年出生児と比較すると、割合が最も上昇したのは「子どもの将来が楽しみ」の12.2ポイントで、次いで「子どもの成長によるこびを感じる」の9.9ポイントの順となっている。（図5-2）

図5-1 子どもがいてよかったと思うことの有無の世代間比較

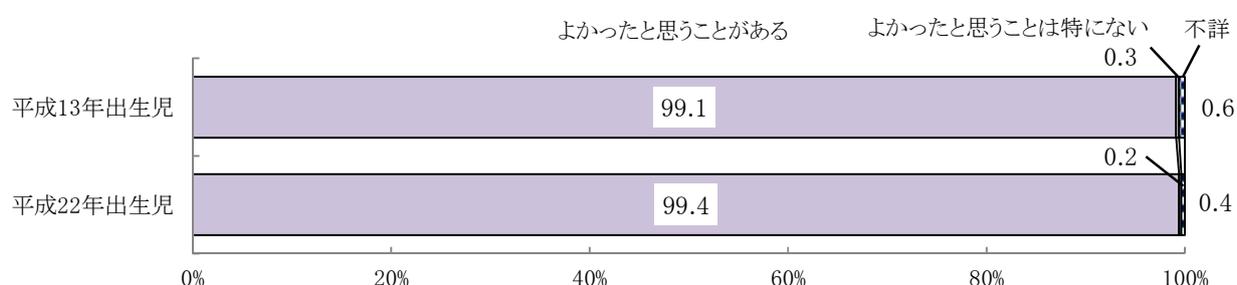
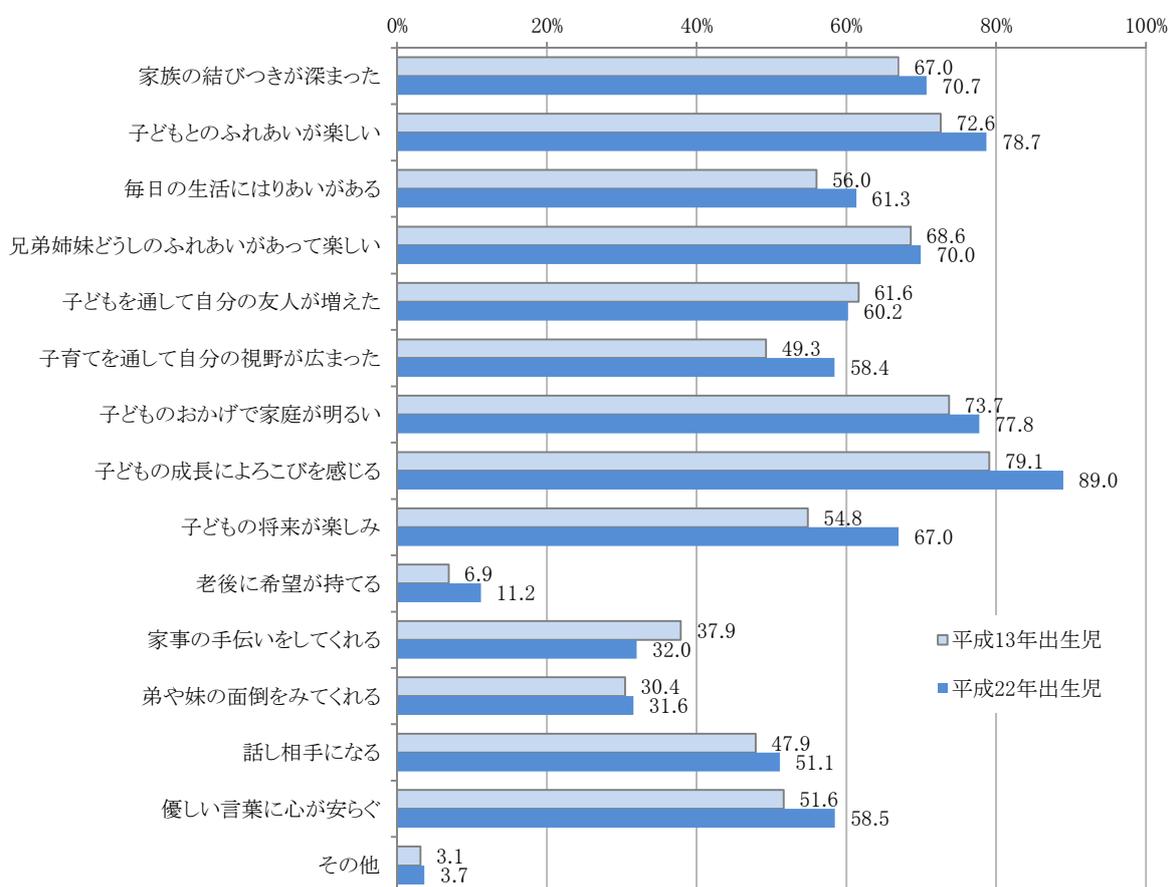


図5-2 子どもがいてよかったと思うことの内容の世代間比較（複数回答）



注：第7回調査の回答を得た者（平成13年出生児総数 36,785、平成22年出生児総数 25,397）を集計。

(2) 子どもを育てていて負担に思うことや悩み

平成13年出生児に比べて、割合が最も上昇したのは「子育てによる身体の疲れが大きい」の9.4ポイント、次いで「自分の自由な時間が持てない」の6.2ポイント

平成22年出生児について、子どもを育てていて負担に思うことや悩みの有無をみると、「負担に思うことや悩みがある」が75.2%となっている(図6-1)。

また、子どもを育てていて負担に思うことや悩みの内容(複数回答)をみると、「子育ての出費がかさむ」が42.0%と最も高く、次いで「自分の自由な時間が持てない」31.7%、「子育てによる身体の疲れが大きい」26.6%の順となっている。

平成13年出生児と比較すると、割合が最も上昇したのは「子育てによる身体の疲れが大きい」の9.4ポイントで、次いで「自分の自由な時間が持てない」の6.2ポイントの順となっている。(図6-2)

図6-1 子どもを育てていて負担に思うことや悩みの有無の世代間比較

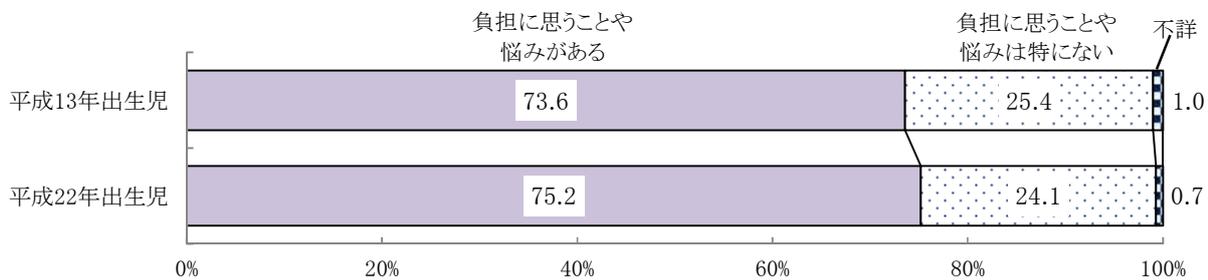
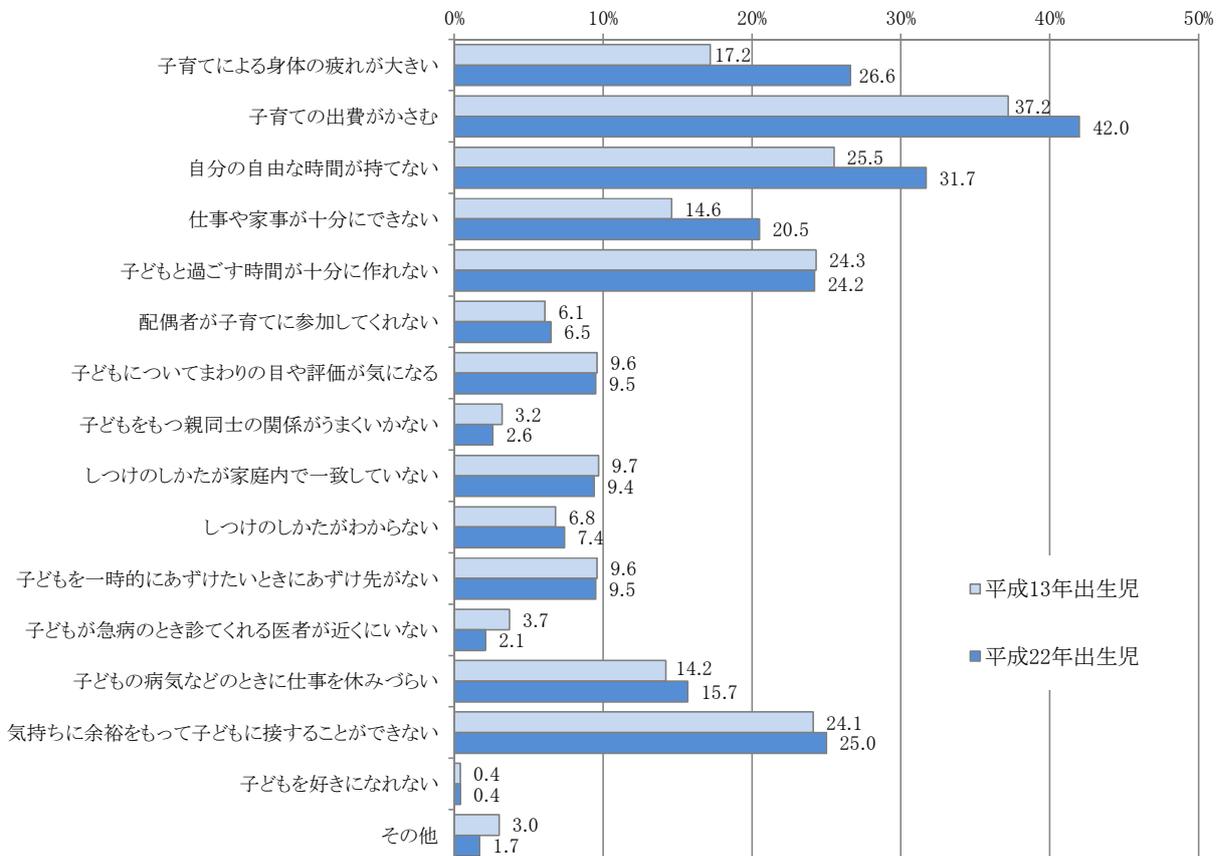


図6-2 子どもを育てていて負担に思うことや悩みの内容の世代間比較(複数回答)



注：第7回調査の回答を得た者(平成13年出生児総数 36,785、平成22年出生児総数 25,397)を集計。